

## 「第1回 小樽市雪対策基本計画策定 分科会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年7月10日 13:30～15:20

場所：市立図書館 2階視聴覚室

出席者：委員18名

傍聴者： 1名

事務局： 2名

○：委員からの意見等 →：事務局の意見等 ( )：補足説明
-------------------------------------

### 1 貸出ダンプ制度について

- 市がダンプを保有して配車できないのでしょうか。  
→貸出ダンプのために、市がダンプを所有することは難しい。ダンプ組合と連携して配車したい。

### 2 ロードヒーティングについて

- なるべく経費をかけないで、太陽光発電など自然エネルギーを活用して、バス路線やバス停の融雪ができないでしょうか。  
→自然エネルギーなど、さらに経済的・効率的な熱源が活用可能であれば検討したい。

### 3 凍結路面对策について

- 砂散布作業と除雪作業のタイミングについて、除雪作業の前に砂散布をすると無駄になるし、春先の砂の処理も大変であり、砂散布を行わなくてもよい路線があると思われるので、砂散布箇所の見直しも検討してほしい。  
→作業の連携について、受託者と打合せしながら、タイミングよく作業したいと思います。

### 4 雪対策基本計画について

- この計画の想定期間はどのくらいでしょうか。  
→概ね10年間です。
- 人口減少や高齢化を想定した雪対策の検討が必要と思います。  
→今後、どうしたらよいか分科会・懇話会で検討したいと思います。

### 5 除排雪作業について

- 旧手宮線に雪を投入しないようにバリケードを設置しているが、イベント時期（雪あかりの路）になると雪が足りないためにわざわざ雪をダンプで運び入れているが、普段の除雪から雪を入れるようにすれば、その作業はいらなくなって経費削減になるのではと思います。  
→イベントの担当者に確認してみます。
- 歩行者の安心安全のために歩道のない道路や歩道の除排雪の検討が必要と思います。  
→歩行者に対する安全も重要な課題と認識しております。
- 排雪作業の要望先はステーションなのか市なのでしょうか。  
→排雪については、除雪ステーションと協議事項であるため、まずは、除雪ステーションへ連絡をお願いしたい。
- ステーションによって排雪のやり方が違う。公園敷地を利用しているところと、していない箇所がある。今後検討できないでしょうか。  
→現状を確認させていただき、検討させていただきたい。

- 冬期間の狭隘・急坂道路にて、緊急車両（消防・救急）が通れないと住民の安心安全が脅かされていることが問題です。  
→例えば、雪押場等の情報提供をいただくことで、作業方法の工夫で何ができるのか検討したい。
- 協働の取組について、自前の除雪機で地域の道路除雪作業など。町会でもできることは行っています。（地域の方々が、燃料代等を負担）

## **6 空き家対策について**

- 空き家の落雪対応を市にお願いしたい。  
→市の空家対策の担当、消防と連携して緊急処理を行っていますが、基本は空家の所有者に落雪対応をお願いすることになります。